

がんばるや

もみじ福祉会ニュース

発行/社会福祉法人 もみじ福祉会

(第一もみじ作業所・第二もみじ作業所)

 〒730 広島県広島市中区吉島西2-1-24
 TEL (082) 243-0331
 FAX (082) 243-0497

 1998年6月
 第16号

 ご協力ありがとうございました
 新たな歩みにむけて

5周年記念事業 (ほぼ)完了

平成五年四月、吉島の地で法人認可施設として再出発した「もみじ作業所」。

市内で最初の小規模作業所が「草の根運動」の展開の末に、市内で初めて法人認可を果たしたから、この三月で満五才を迎えました。

この試行錯誤の五年間、遅々とした歩み、微々たる成果だったかもしれませんが、一貫して「法人化はゴールではない」を合言葉に、日常の実践の向上、重度障害者の働く場・活動の場の拡充、地域生活の支援体制の構築などを目指してきました。

区切りとなるこの年に、これまでの歩みと成果をまとめ、これからの課題と目標を確かめ合う機会をもちたい。それらを、法人化をはじめとする様々な取り組みにご支援・ご協力を頂いた多くの人々と共感しあえる場を作りたいという声が高まりました。

そして、平成九年七月、「五周年記念事業推進委員会」が結成され、「三つの事業と二つの発表」という記念事業全体を決定し、以降、三つの事業それぞれに実行委員会を作って進められました。

3つの事業

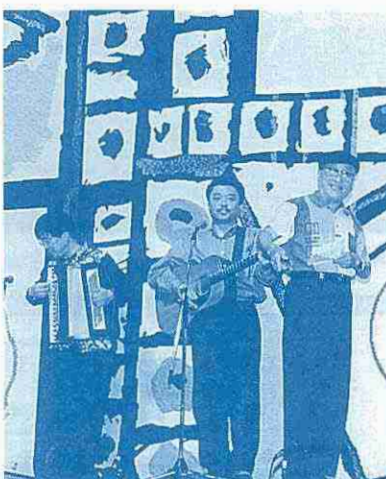
大いに学んだ

5周年記念講演会

先進施設の実践に学ぼうと、ゆたか福祉会・福祉村建設委員会の小島嘉恵子さんを招いて、三月八日、広島市



歌は楽しく、明るく歌わなくちゃ
(第6回ともコン・第三部より)



観客とともに、恒例のスイングアウト
(第6回ともコン・第二部より)

夢を形に!

第6回ともだちコンサート

将来構想第一期五年計画のスタートの事業として、四月二十六日、厚生年金会館で開催。法人認可運動を押し進めた「ともコン」。伝統のテーマ「働く喜び・生きる喜びを歌に」とともに、現在の仲間や夢や願いを歌にして訴えました。当日は千七百名の参加で大成功。

(詳しくは二・三面をご覧ください)

しっかり指針を

小記念誌の刊行

小記念誌刊行委員会では、その刊行趣旨・目的を①もみじ作業所の歴史を振り返り、諸実績の確認とともに成果と課題を明らかにできるものに。
②単なる歴史年表でなく、将来の夢を語り、また将来においても、繰り返し立ち戻って方向を確認できるバイブルとなるようなものに。
③広く読まれ、広島障害者福祉関係者を勇気づけるものと高く大きく掲げ、企画内容を、次の三部構成とした。

・第一部・過去編/十三年にわたる無認可時代を「ともコン」を通して振り返る「ともコン物語」

・第二部・現在編/もみじ福祉会
五年の実践を総括する実践編

・第三部・未来編/もみじ福祉会
将来について語る座談会編

なんと四月二十六日の第六回ともだちコンサートに間に合わせたいと頑張りましたが成し得ず、とりあえず第一巻として、四月二十六日には「第一部・過去編」のみを部分刊行しました。

もみじ福祉会の目指すもの

私たちは、障害者も含めた地域で生活するすべての人たちが、文化的で平和な環境の下、自らの心と身体、そして人生の主人公として暮らせるための総合的な権利保障を目指し、以下の事に取り組みます。

1. 仲間(利用者)の生きる力の充実と生活の質の向上を目指します。
 - (1)自分の障害の理解、自律性や主体性の獲得、健康や学力の向上など、仲間(利用者)の生きる力の獲得・拡大に取り組みます。
 - (2)仲間(利用者)が、社会の構成員にふさわしい政治・経済・文化など、社会の全場面に参加できるよう取り組みます。
 - (3)仲間(利用者)にとってより望ましい(安心・安全・快適な)生活のあり方の研究と実現に取り組みます。
2. 地域の生活と福祉の向上への貢献を目指します。
 - (1)もみじ福祉会の持つ施設、情報、人材を活かして、地域の福祉的ニーズに応えられるよう取り組みます。
 - (2)障害者が、障害を理由とする社会的不利を被ることなく、地域生活をおくれるよう、各種の障壁をなくすとともに、必要な援助が必要ときに必要なだけ受け入れられるような制度・政策の充実した、住みよい地域づくりに取り組みます。
 - (3)暴力や不正、貧困や無知など、障害者を生み出すことにつながる、あらゆる環境に反対し、これらを無くしていくよう取り組みます。
3. 事業の民主的な運営と地域の諸団体との協力・共同を大切にします。
 - (1)関係者が、持てる知恵と力を十分に発揮・結集できるよう、一人一人の考えや気持ちが尊重され、自由にものの言える事業運営に取り組みます。
 - (2)みんなの願いや要求を実現していくために、思想信条の違いを超えて、地域の諸団体との協力・共同に取り組みます。
4. 以上の取り組みを充実・発展させていくために、これらの実践の要となる、職員の、障害や発達保障、福祉や障害者運動についての専門性の向上につとめます。

2つの発表

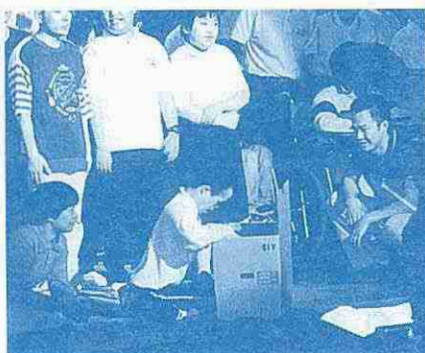
もみじ福祉会のシンボルマーク

広島市在住の著名なデザイナー藤重日生さんが、ボランティア協力として、「もみじの仲間たちの明るさや、人とのつながりを大切にしているもみじ福祉会」をイメージしてデザインして下さいました。

関係者一同大喜び、当季刊紙第十三号及び小記念誌第一巻「第一部・過去編」の表紙においても発表させていただきます。

今後、もみじ作業所のいろいろな企画や商品にいろいろなバリエーションで使わせて頂きます。

MOMIJI



周囲の心配をよそに、パッチリ演技
(第6回ともコン・第三部 ダンボール作業の実演)

「もみじ福祉会のめざすもの」

もみじ作業所・がんばる作業所が統合されて五年。それぞれが持っていたスローガン・理念を統合した「もみじ福祉会のめざすもの」を作ろうと、断片的ながら四年余にも及ぶ討議の結果、やっと完成を見ました。

この「めざすもの」を、この機会に公に発表しようと、先のシンボルマークと同じく、小記念誌第一巻「第一部・過去編」にて発表しました。本面にも掲げています。ぜひご覧ください。

常に、「めざすもの」を念頭に置き、あるいは「めざすもの」に立ち返りながら歩んでいきたいと考えています。

財産目録

平成10年3月31日 現在

社会福祉法人 もみじ福祉会

Ⅰ、資産の部	
1、建 物	218,100,440円
第一もみじ作業所・第二もみじ作業所合築施設 鉄筋コンクリート造二階建て 延べ面積1098.890㎡	
2、固定資産物品	83,223,555円
車輛、授産機器等（別表 1）	
3、その他の固定資産（別表 2）	68,552,862円
基本財産、積立金、緑化工事等	
4、権 利	295,568円
電話加入権 3台	
5、立 替 金（別表 3）	213,919円
6、未 収 金（別表 4）	5,902,494円
1～3月分措置費精算分、その他	
7、仮 払 金（別表 5）	17,730円
8、預 金（別表 6）	22,685,803円
普通、定期預金	
9、有 価 証 券	0円
10、現 金	70,617円
第一施設会計 20,617円 第二施設会計 50,000円	
資産合計	399,062,988円

Ⅱ、負債の部	
1、借入金	52,500,000円
設備資金借入金（借入先）社会福祉・医療事業団 （借入年）平成4年 （借入額）70,000,000円	
2、未払金（別表 7）	4,110,036円
3、仮受金（別表 8）	235,177円
4、預り金（別表 9）	1,808,119円
5、引当金	17,347,261円
人件費引当金 第一施設 11,300,000円 第二施設 3,000,000円 修繕引当金 第一施設 2,700,000円 授産材料引当金 347,261円	
負債合計	76,000,593円
Ⅲ、純財産の部	
1、基 金	306,794,163円
基本財産基金（預金および建物 219,100,440円） 運用財産基金（固定資産物品、電話加入権、外構 87,693,723円）	
2、積立金	△6,469,146円
固定負債積立金 △52,500,000円 建設積立金 32,930,854円 その他の積立金 13,100,000円	
3、繰越金（別表 10）	22,737,378円
前期繰越金 15,281,350円 当期繰越金 7,456,028円	
純財産合計	323,062,395円

△おしらせ▽
平成9年度の事業報告については、もみじ福祉会事務所にて閲覧いただけます。

本部会計貸借対照表

社会福祉法人 もみじ福祉会

（平成10年 3月31日現在）

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
01 流 動 資 産	8,033,437	11 流 動 負 債	2,500
01 現 金	0	01 経常資金借入金	0
02 広島総合普通預金本部	33,437	02 未 払 金	2,500
03 広島総合定期預金	8,000,000	03 未 払 費 用	0
03 有 価 証 券	0	04 仮 受 金	0
04 立 替 金	0	05 預 り 金	0
05 仮 払 金	0	06 前 受 収 益	0
06 前 渡 金	0	07 施設会計借入金	0
07 前 払 費 用	0	08 特別会計借入金	0
08 貸 付 金	0	09 その他の流動負債	0
09 施設会計貸付金	0	12 固 定 負 債	52,500,000
10 特別会計貸付金	0	01 設備資金借入金	52,500,000
11 未 収 金	0	13 引 当 金	0
12 その他の流動資産	0	01 退職給与引当金	0
02 固 定 資 産	268,125,462	02 特 定 引 当 金	0
01 建 物	218,100,440	負債合計（A）	52,502,500
02 固定資産物品	0	21 基 金	222,094,608
03 土 地	0	01 基本財産基金	219,100,440
04 建設仮勘定	0	02 運用財産基金	2,994,168
05 権 利	295,568	22 積 立 金	-6,469,146
06 投資有価証券	0	01 建設積立金	32,930,854
07 その他の固定資産	49,729,454	02 固定負債積立金	-52,500,000
		03 その他の積立金	13,100,000
		23 繰 越 金	8,030,937
		01 前期繰越金	5,610,131
		02 当期繰越金	2,420,806
		純財産合計（B）	223,656,399
資 産 合 計	276,158,899	負債・純財産合計（A+B）	276,158,899

本部会計収支計算書

社会福祉法人 もみじ福祉会

（自 平成9年 4月 1日）
（至 平成10年 3月 31日）

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
31 事 務 費 支 出	377,938	41 補 助 金 収 入	3,079,000
01 役 員 報 酬	0	01 地方公共団体補助金収入	3,079,000
02 職 員 俸 給	0	02 公益事業補助金収入	0
03 職 員 諸 手 当	0	42 寄 付 金 収 入	3,770,234
04 賃 金	0	01 寄 付 金 収 入	3,770,234
05 法 定 福 利 費	0	02 特別寄付金収入	0
06 厚 生 経 費	0	43 繰 入 金 収 入	1,260,000
07 退職給与及び引当金繰入	0	01 特別会計繰入金収入	0
08 旅 費	31,180	02 施設会計繰入金収入	1,260,000
09 一 般 物 品 費	0	44 雑 収 入	1,181,510
10 固定資産物品費	0	01 雑 収 入	202,412
11 印 刷 製 本 費	0	02 職 員 給 食 費 等	0
12 光 熱 水 費	0	03 運 用 収 入	979,098
13 燃 料 費	0	45 引 当 金 戻 入	0
14 会 議 費	216,730	01 退職給与引当金戻入	0
15 修 繕 費	0	02 特定引当金戻入	0
16 役 務 費	7,055	46 設備資金借入金収入	0
17 借 料 損 料	0	01 設備資金借入金収入	0
18 雑 費	122,973	47 積 立 金 戻 入	0
32 元 利 償 還 金	5,992,000	01 建設積立金戻入	0
01 設備資金借入金償還金	3,500,000	02 その他の積立金戻入	0
02 利 子	2,492,000		
33 繰 入 金 支 出	500,000		
01 施設会計繰入金支出	500,000		
02 特別会計繰入金支出	0		
34 雑 支 出	0		
01 雑 支 出	0		
02 特定引当金繰入	0		
35 固定資産取得費	0		
01 固定資産取得費	0		
36 積 立 金 繰 入	0		
01 建設積立金繰入	0		
02 その他の積立金繰入	0		
小 計	6,869,938		
37 当 期 繰 越 金	2,420,806		
01 当 期 繰 越 金	2,420,806		
合 計	9,290,744	合 計	9,290,744

第一施設会計貸借対照表

第一もみじ作業所

(平成10年3月31現在)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
51 流 動 資 産	12,674,779	61 流 動 負 債	4,034,777
01 現 金	20,617	01 未 払 金	2,735,159
02 広島総合普通預金施設1	2,405,750	00 仮 受 金	0
03 広島総合定期預金	6,000,000	02 預 り 金	1,299,618
04 郵便普通預金	651,880	03 前 受 収 益	0
03 有 価 証 券	0	04 本部会計借入金	0
00 立 替 金	49,502	05 その他の流動負債	0
00 仮 払 金	0	62 引 当 金	14,000,000
04 前 払 費 用	0	01 人件費引当金	11,300,000
05 本部会計貸付金	0	02 修繕引当金	2,700,000
06 未 収 金	3,547,030	03 備品等購入引当金	0
07 その他の流動資産	0	負債合計(A)	18,034,777
52 固 定 資 産	58,163,870	71 運用財産基金	44,163,870
01 固定資産物品	43,304,370	01 運用財産基金	44,163,870
02 その他の固定資産	14,859,500	72 繰 越 金	8,640,002
		01 前期繰越金	3,971,019
		02 当期繰越金	4,668,983
		純財産合計(B)	52,803,872
資 産 合 計	70,838,649	負債・純財産合計(A+B)	70,838,649

第一施設会計収支計算書

(自 平成9年4月1日)

(至 平成10年3月31日)

第一もみじ作業所

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
81 事務費支出	68,016,128	91 措置費収入	74,926,800
01 職員俸給	30,567,858	01 事務費収入	66,673,200
02 職員諸手当	16,456,064	02 事業費収入	8,253,600
03 賃 金	5,844,081	92 補助金収入	5,024,362
04 法定福利費	6,441,868	01 都道府県補助金収入	0
05 厚生経費	532,173	02 市区町村補助金収入	5,024,362
06 旅 費	473,869	94 寄付金収入	2,816,379
07 一般物品費	858,020	01 寄付金収入	805,179
08 固定資産物品費	0	00 寄付物品収入	0
09 印刷製本費	918,099	00 特別寄付金収入	2,011,200
10 光熱水費(務)	352,957	95 繰入金収入	0
00 燃料費(務)	2,017	01 本部会計繰入金収入	0
11 会 議 費	182,200	02 特別会計繰入金収入	0
12 修繕費(務)	92,600	96 雑 収 入	1,294,947
13 業務委託費	633,632	01 雑 収 入	267,859
14 役 務 費	1,795,245	02 職員給食費等	951,742
15 借 料 損 料	196,950	03 運用収入	75,346
00 各所修繕費	638,391	97 引当金戻入	0
16 雑 費	2,030,104	01 人件費引当金戻入	0
82 事業費支出	9,417,377	02 修繕引当金戻入	0
01 給 食 費	2,434,451	03 備品等購入引当金戻入	0
02 保健衛生費	365,381		
00 被 服 費	149,440		
03 教養娯楽費	1,453,688		
00 日 用 品 費	26,810		
03 光熱水費(業)	3,352,393		
05 燃料費(業)	463,265		
00 器具什器費	659,327		
00 修繕費(業)	82,775		
00 訓練指導費	399,847		
05 雑 費	30,000		
84 繰入金支出	1,260,000		
01 本部会計繰入金支出	1,260,000		
85 引当金繰入	700,000		
01 人件費引当金繰入	0		
02 修繕引当金繰入	700,000		
03 備品等購入引当金繰入	0		
小 計	79,393,505		
86 当期繰越金	4,668,983		
01 当期繰越金	4,668,983		
合 計	84,062,488	合 計	84,062,488

第二施設会計貸借対照表

第二もみじ作業所

(平成10年3月31現在)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
51 流 動 資 産	5,485,134	61 流 動 負 債	1,102,311
01 現 金	50,000	01 未 払 金	593,810
02 広島総合普通施設2	308,565	00 仮 受 金	0
03 広島総合定期預金	3,000,000	02 預 り 金	508,501
04 郵便普通預金	269,100	03 前 受 収 益	0
03 有 価 証 券	0	04 本部会計借入金	0
00 立 替 金	0	05 その他の流動負債	0
00 仮 払 金	1,000	62 引 当 金	3,000,000
04 前 払 費 用	0	01 人件費引当金	3,000,000
05 本部会計貸付金	0	02 修繕引当金	0
06 未 収 金	1,856,469	03 備品等購入引当金	0
52 固 定 資 産	42,860,685	負債合計(A)	4,102,311
01 固定資産物品	39,244,185	71 運用財産基金	39,860,685
02 その他の固定資産	3,616,500	01 運用財産基金	39,860,685
		72 繰 越 金	4,382,823
		01 前期繰越金	4,247,397
		02 当期繰越金	135,426
		純財産合計(B)	44,243,508
資 産 合 計	48,345,819	負債・純財産合計(A+B)	48,345,819

第二施設会計収支計算書

(自 平成9年4月1日)

(至 平成10年3月31日)

第二もみじ作業所

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
81 事務費支出	40,460,992	91 措置費収入	38,464,296
01 職員俸給	19,159,823	01 事務費収入	33,935,496
02 職員諸手当	11,071,396	02 事業費収入	4,528,800
03 賃 金	3,902,369	00 措置費収入	0
04 法定福利費	3,961,724	92 補助金収入	2,727,277
05 厚生経費	212,047	01 都道府県補助金収入	309,056
06 旅 費	153,340	02 市区町村補助金収入	2,418,221
07 一般物品費	74,970	94 寄付金収入	1,759,600
08 固定資産物品費	0	01 寄付金収入	0
09 印刷製本費	183,589	00 寄付物品収入	100,000
10 光熱水費(務)	85,049	00 特別寄付金収入	1,659,600
00 燃料費(務)	0	95 繰入金収入	500,000
11 会 議 費	94,815	01 本部会計繰入金収入	500,000
12 修繕費(務)	0	02 特別会計繰入金収入	0
13 業務委託費	152,108	96 雑 収 入	1,769,360
14 役 務 費	495,564	01 雑 収 入	1,065,273
15 借 料 損 料	10,830	02 職員給食費等収入	684,009
00 各所修繕費	69,982	03 運用収入	20,078
16 雑 費	833,386	97 引当金戻入	0
82 事業費支出	4,624,115	01 人件費引当金戻入	0
01 給 食 費	1,744,529	02 修繕引当金戻入	0
02 保健衛生費	168,333	03 備品等購入引当金戻入	0
00 被 服 費	2,352		
00 教養娯楽費	482,686		
00 日 用 品 費	86,122		
03 光熱水費(業)	765,566		
00 燃料費(業)	363,092		
00 器具什器費	262,429		
00 修繕費(業)	345,155		
00 訓練指導費	403,851		
05 雑 費	0		
84 繰入金支出	0		
01 本部会計繰入金支出	0		
85 引当金繰入	0		
01 人件費引当金繰入	0		
02 修繕引当金繰入	0		
03 備品等購入引当金繰入	0		
小 計	45,085,107		
86 当期繰越金	135,426		
01 当期繰越金	135,426		
合 計	45,220,533	合 計	45,220,533

歌にのせて



ぼくらの街に グループ わたしの街に 身障ホー

↑オープニングのまつりだいて
休日返上で練習をがんばりました



「ヤッサ・ヤッサ・ヤッサ...
ソレ・ソレ・ソレ」



一月の寒い時から始まり
ました。最初は集まりが少
ないで指導してくださる
新江さんに申し訳なく思っ
てました。でもだんだんと
練習を重ねるうちに仲間も
沢山練習に参加するように
なりました。最初は集まりが少
ないで指導してくださる
新江さんに申し訳なく思っ
てました。でもだんだんと
練習を重ねるうちに仲間も
沢山練習に参加するように
なりました。



※保護者の皆さんが熱唱さ
れた演歌「そよ風情話」
は、歌はもちろん、語りも
グッとくるんです！

体の動く限り 『夢を形に』 がんばりたい

もみじ作業所も法人化に
なつて、五年が過ぎました。
次の課題としてグループホー
ム・生活施設を実現してい
くという願いを込めて、第
六回ともだちコンサートを開
催することになり、仲間
達は大喜びでした。練習は
一月の寒い時から始まり
ました。最初は集まりが少
ないで指導してくださる
新江さんに申し訳なく思っ
てました。でもだんだんと
練習を重ねるうちに仲間も
沢山練習に参加するように
なりました。



広島厚生年金会館にて：300

時には強く、時には包みこむようにして
小さな手を引き歩いてきた気がします
私たちに吹く風は人よりきつと感じ
つつ指先に力が入っても
子どもは痛いとも言わずついてきました
ふと気がつくと
子どもの手は親の手と同じくらい
いやそれ以上になっていました
引くにも力が入るようになったのは
親に力がなくなったせいなのか
あるいは子どもの意思がそうさせるのか...
この辺で子どもを先に行かせてみましょうか
少し遅れて後ろ姿を見ながら歩くのもいいかも
しれない
顔を上げ胸を張って歩いていく
この子らに吹く風は
どうか心地よいそよ風でありますように

(「そよ風情話」語り部分より)

組織係の声



まず、仲間の皆さん。あ
まり皆さんとは接していま
せんし当日はあまり会場に
入って見ていませんが、会
場の外まで躍動感が伝わっ
てきました(仲間の皆さん
が本番に強い事があらため
てわかりました)。最初
は五年の空白をどう
やって埋めるか、組織がう
まく出来るか心配でした。
ボランティアが集まらな
く仲間を迷走をかけたしま
わなにか、とにかく心配と
不安の出発点だったのを覚
えています。第一回から五
回までは「いかに法人化す
か」だったのが皆の力で法
人化になって、今回は「グ
ループホームの設立」とい
う大きな夢で、第五回まで
とは違うテーマだった為に
ボランティア募集の時もき
ちんと説明できず困った事
もありましたが、今となっ
ては思い出の一つとなっ
ています。
※「係の打ち合わせあるぞ」
「実行委員会あるぞ」とそ
のたびに会社員にもみじ
作業所へ直行！の向台さん。
本当にありがとう！

純太「うのしめをしました。」

すずも「うのしめをしました。」

おまかせに「うのしめをしました。」

dyしんちょう「うのしめをしました。」

はしもとさん「うのしめをしました。」

やましたくん「うのしめをしました。」

さえきくん「うのしめをしました。」

いずみもとくん「うのしめをしました。」

いせくん「うのしめをしました。」

こさかくん「うのしめをしました。」

タンバリンをうたうはつて

うちをうたうはつて

うたうはつて

うたうはつて

うたうはつて

うたうはつて

うたうはつて

うたうはつて

うたうはつて

うたうはつて

うたうはつて

うたうはつて

うたうはつて

うたうはつて

うたうはつて

うたうはつて

うたうはつて

うたうはつて

うたうはつて

うたうはつて

うたうはつて

うたうはつて

うたうはつて

うたうはつて

行事日誌

2日 佐藤氏見学来所 (ボランティア希望)
3日 生活自習訓練 (5日 第5回・Bグループ)
5日 南福祉事務所定期調査
6日 クラブ活動
7日 全館一斉害虫防除 ひかり協会連絡懇談会
共作連 連続講座 No.4 参加
9日 生協ひろしま 3年目研修来所
10日 将来構想検討委員会
11日 雪遊び (中區社協主催)
16日 もみじ福祉会後援会役員会
17日 仲間検診 (第2回) 家庭裁判所来所相談
18日 保護者会例会
18日 生活自習訓練 (20日 第5回・Cグループ)
19日 避難訓練 (第2回)
19日 ダイエーナイスハートバザール 出店 参加
20日 高知県施設職員見学来所
20日 白石先生との合同事例検討会 (21日)
23日 レスパイト (24日)
26日 宿泊訓練 (27日 3巡目・第1回)
27日 ともコン実行委員会
28日 アルパーク「ぼくらのアトリエバザール」
参加 (1日)

3日 広島市指導監査 (4日)
7日 広島刑務所矯正展 出店 参加
8日 小記念誌:座談会
もみじ福祉会5周年記念講演会
9日 女子大中本氏実習来所 (19日)
10日 愛媛あやめ会見学来所
12日 宿泊訓練 (13日 3巡目・第2回)
17日 生協ひろしま見学来所
18日 保護者会例会
20日 1997年度総務会議 (21日)
23日 将来構想検討委員会
もみじ福祉会後援会役員会
25日 もみじ福祉会第24回理事会
26日 宿泊訓練 (27日 3巡目・第3回)
28日 ともコンボランティア学習会

7日 広島市との懇談会 (将来構想検討委員会)
8日 広島市よりボランティア来所
保護者会総会
宿泊訓練 (9日 3巡目・第4回)
10日 ともコン実行委員会
11日 ともコン全体練習日
14日 生協ひろしま 新人研修来所
19日 ともコン全体練習日
22日 ホームテレビ、テレビ新広島取材
23日 宿泊訓練 (24日 3巡目・第5回)
25日 ともコン全体練習日
26日 第6回ともだちコンサート (厚生年金会館)

2日 保護者会清掃ボランティア
フラワーフェスティバル 出店 参加 (5日)
7日 宿泊訓練 (8日 3巡目・第6回)
15日 保護者会例会
中島小学校見学来所
もみじ福祉会内部監査
宿泊訓練 (22日 3巡目・第7回)
21日 共作連 全国大会 (24日 滋賀)
25日 家庭裁判所より実習来所 (27日)
26日 もみじ福祉会第25回理事会
28日 親子デイキャンプ

六月二十二日に広島市役所に、本人とその保護者、障害福祉課長、第一もみじ作業所所長、指導員、世話人等が出席して入所式が行われました。参加した本人たちは少し緊張気味でしたが、「洗濯したことがないの、やってみたい」「三人で力を合わせて料理を作ってみよう」「郷土資料館が気になるので行ってみたい」など、行ってみたい外出先

三村 スエノ
広島女学院
中高等学校様
後援会
演 喜代春
あさもとはじめ
飛鳥 寿司
幡司 あゆみ
真喜子歌謡スクール様

去る三月八日(日)にもみじ福祉会五周年関連事業のひとつとして「記念講演」を市立養護学校をお借りして開催しました。



講演者としては、全国の作業所作り運動の中で常に先

公としての仲間たちのゆたかな生活と発達を保障をめぐり、理念にふれ感動しました。

また、けっして田舎の隔離された施設、閉鎖的な施設作りではなく、村おこしなど地域の発展や老人福祉向上など、障害者福祉が地域福祉と地域交流に貢献する二世紀に向けての新しい日本の福祉事業の在り方を切り開く画期的な取り組みへチャレンジされてお

有り難うございました
ともだちコンサート
大成功!

四月二十六日の第六回ともだちコンサートは千七百余人の方々の参加で大成功に終わりました。

後援会からは、実行委員会に、合唱団に、ボランティアに、観客にと全面的な応援を頂き、成功にむけて大いに力を発揮して頂きました。有り難うございました。

今年度も昨年度に引き続き、広島市より「精神薄弱者生活自立訓練事業」の委託を受け、四月より利用者九名を公募しました。その結果、もみじ作業所の仲間三名のグループと観音中学校の卒業生で主に企業就労している人たちの団体「わかば」のグループ三名、在宅の障害者二名ともみじ作業所の仲間一名のグループ、計三グループ(九名)で行

うことに決まりました。各グループ、二泊三日を年五回行い、その中で買い物、食事作り、洗濯、公共交通機関を使った外出などを体験します。今回は、企業修了している障害者の方も参加し、土曜日からもみじの家で泊まり、月曜日の朝、もみじの家から各職場へ働きに行くという新しい取り組みを始めることになりました。

六月二十二日に広島市役所に、本人とその保護者、障害福祉課長、第一もみじ作業所所長、指導員、世話人等が出席して入所式が行われました。参加した本人たちは少し緊張気味でしたが、「洗濯したことがないの、やってみたい」「三人で力を合わせて料理を作ってみよう」「郷土資料館が気になるので行ってみたい」など、行ってみたい外出先

もみじ福祉会5周年 記念講演

～ゆたかな福祉会の実践や「福祉村構想」から学ぶ～

人としてゆたかに生きる

～講師 ゆたか福祉会・福祉村建設委員会

小邑 嘉恵子さんを招いて～

ゆたか福祉会では約三十年間の間に、三十ヶ所弱におよぶ授産や更正施設、デイサービス施設、グループホーム、障害者診療所、福祉協同組合が行われ、現在、三十年間の歴史や実践を土台に「福祉村」建設を推進されています。

小邑さんはその福祉村建設委員として活躍されており、ゆたか福祉会の歴史や「福祉村構想」について講演していただくことは、もみじ福祉会および広島市の作業所運動の将来においても有意義なことではないかという

ことで計画されました。

当日は、もみじ福祉会理事・後援会幹事・保護者・仲間・職員など関係者の他に、他作業所の方や養護学校の先生、障害児・者を

持った親の方、学生さんたちと幅広い層の方約百二十名の参加がありました。

権利の主体・施設の主人公としての仲間たちのゆたかな生活と発達を保障をめぐり、理念にふれ感動しました。

また、けっして田舎の隔離された施設、閉鎖的な施設作りではなく、村おこしなど地域の発展や老人福祉向上など、障害者福祉が地域福祉と地域交流に貢献する二世紀に向けての新しい日本の福祉事業の在り方を切り開く画期的な取り組みへチャレンジされてお

有り難うございました
ともだちコンサート
大成功!

今年度も昨年度に引き続き、広島市より「精神薄弱者生活自立訓練事業」の委託を受け、四月より利用者九名を公募しました。その結果、もみじ作業所の仲間三名のグループと観音中学校の卒業生で主に企業就労している人たちの団体「わかば」のグループ三名、在宅の障害者二名ともみじ作業所の仲間一名のグループ、計三グループ(九名)で行

また、けっして田舎の隔離された施設、閉鎖的な施設作りではなく、村おこしなど地域の発展や老人福祉向上など、障害者福祉が地域福祉と地域交流に貢献する二世紀に向けての新しい日本の福祉事業の在り方を切り開く画期的な取り組みへチャレンジされてお



有り難うございました
ともだちコンサート
大成功!

今年度も昨年度に引き続き、広島市より「精神薄弱者生活自立訓練事業」の委託を受け、四月より利用者九名を公募しました。その結果、もみじ作業所の仲間三名のグループと観音中学校の卒業生で主に企業就労している人たちの団体「わかば」のグループ三名、在宅の障害者二名ともみじ作業所の仲間一名のグループ、計三グループ(九名)で行

今年度も昨年度に引き続き、広島市より「精神薄弱者生活自立訓練事業」の委託を受け、四月より利用者九名を公募しました。その結果、もみじ作業所の仲間三名のグループと観音中学校の卒業生で主に企業就労している人たちの団体「わかば」のグループ三名、在宅の障害者二名ともみじ作業所の仲間一名のグループ、計三グループ(九名)で行

今年度も昨年度に引き続き、広島市より「精神薄弱者生活自立訓練事業」の委託を受け、四月より利用者九名を公募しました。その結果、もみじ作業所の仲間三名のグループと観音中学校の卒業生で主に企業就労している人たちの団体「わかば」のグループ三名、在宅の障害者二名ともみじ作業所の仲間一名のグループ、計三グループ(九名)で行

今年度も昨年度に引き続き、広島市より「精神薄弱者生活自立訓練事業」の委託を受け、四月より利用者九名を公募しました。その結果、もみじ作業所の仲間三名のグループと観音中学校の卒業生で主に企業就労している人たちの団体「わかば」のグループ三名、在宅の障害者二名ともみじ作業所の仲間一名のグループ、計三グループ(九名)で行

今年度も昨年度に引き続き、広島市より「精神薄弱者生活自立訓練事業」の委託を受け、四月より利用者九名を公募しました。その結果、もみじ作業所の仲間三名のグループと観音中学校の卒業生で主に企業就労している人たちの団体「わかば」のグループ三名、在宅の障害者二名ともみじ作業所の仲間一名のグループ、計三グループ(九名)で行

今年度も昨年度に引き続き、広島市より「精神薄弱者生活自立訓練事業」の委託を受け、四月より利用者九名を公募しました。その結果、もみじ作業所の仲間三名のグループと観音中学校の卒業生で主に企業就労している人たちの団体「わかば」のグループ三名、在宅の障害者二名ともみじ作業所の仲間一名のグループ、計三グループ(九名)で行

～もみじ福祉会後援会にご入会下さい～

*年会費は、個人 2,000円
団体 5,000円(一口)です
*ご連絡頂ければ、資料など送付致します



輝け!

New Face



久保田勝也さん

吉村 公宏さん

吉井 充さん